



▲総会時の様子。地区の防災力向上のため、研修なども実施している。

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報

おおづ

5
May 2025

ドキドキ
さわさわ 1年生



地域の絆を守る 防災士—— あなたの隣に、 安心を。



まつもと みつゆき
松本 光行さん(室)

阪神・淡路大震災の教訓を基に活動し、地域防災力の担い手である「防災士」。現在、町の防災士連絡協議会には100人を超える防災士が所属し、町の減災と防災力の向上に努めている。その協議会会長を務める松本さんにクローズアップした。物腰が柔らかく、誰にでも親しまれるような印象の松本さん。18歳で上京し、郵便局員として働きながら夜間の短期大学に通い、勉学に励んだ。「何かしないと暇な時間があったくない」そんな精神を持つアクティブな人だ。25歳で帰郷し、定年まで郵便局員としての責務を果たした。

「新しい声」
新年度が始まりましたね。去年の今頃、私は大津町役場に入庁したばかりで、右往左往していました。私は社会人経験枠で入庁したため、「経験者」だけに、仕事は最初から教えてもらえるのだろうか。上手く立ち回れなかったらどうしよう」など、そんな気持ちで入庁式を迎えた思い出があります。実際は、社会人経験枠の私でも最初から教えてもらうことができ、たくさんフォローしてもらいました。感謝です。今年も分らないことだらけで勉強ばかりの日々ですが、1年前の気持ちを忘れることなく、頑張りたいと思います。

令和2年7月豪雨などのほか、町に避難指示が出た時には地区の一人暮らしの高齢者の安全確認を行うなど、地域の防災にも務めている。「近年は地域のつながりが薄くなりつつありますが、災害時こそ隣の家の人に声を掛けてほしいです。5件先の家の人のことは知らなくても、お隣さんは分かるもの。そうやって声掛けの輪が広がれば、誰も取り残されずにすむ。」
災害時こそ民間力が発揮されることも多々ある。そんな時に活躍するのが防災士だ。「地区の防災士の顔だけでも覚えてもらえば、災害時にはお互いに動ける範囲が広がる。防災士という存在がもっと地区の皆さんに根付いてもらえたらと思う、活動をこころまわす。」



「マチイロ」
スマホアプリ

広報 おおづ 2025 5

発行・編集 ■大津町・総合政策課
〒869-11292 熊本県菊池郡大津町大字大津1233番地
TEL.096(293)3118 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/> ※広報おおづは環境に配慮して再生紙と植物インクを使っています。

UD
FONT
易やすぐ読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。